

## 【目的】

石綿検診(仮称)の実施を見据え、モデルとなる事業を実施することを通じて、実施主体・既存検診(肺がん検診)との連携方法・対象者・対象地域の考え方・検査頻度・事業に要する費用等の課題等について調査・検討を行う。

## 【調査年度】

平成27～31年度

## 【対象地域】

平成27年度 神奈川県(横浜市鶴見区)、岐阜県(羽島市)、大阪府(大阪市、堺市、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、河内長野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町)、兵庫県(尼崎市、西宮市、芦屋市)、奈良県、福岡県(北九州市門司区)、佐賀県(鳥栖市)で開始  
(平成27年度参加者:合計2,046名(暫定))  
平成28年度 大阪府(八尾市、和泉市、東大阪市)、兵庫県(加古川市)が追加

## 【検査項目】

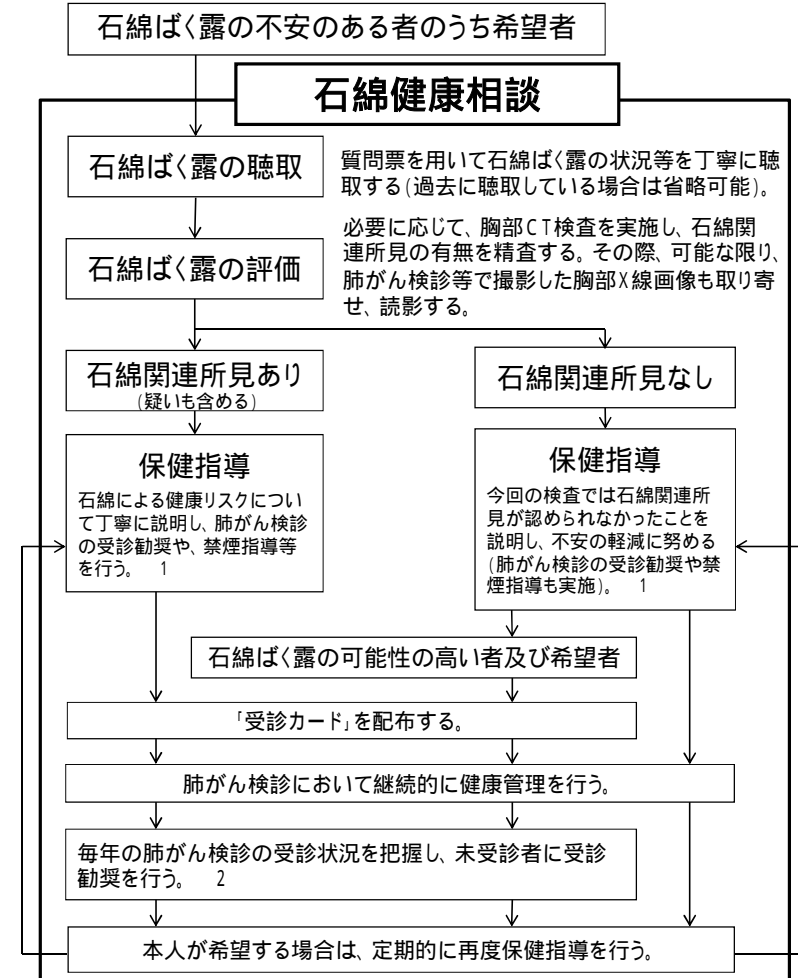
石綿ばく露の聴取、石綿ばく露の評価、保健指導等  
胸部CT検査を実施するとともに、肺がん検診等で撮影した胸部X線画像を取り寄せる。

## 【期待される効果】

効果的・効率的な健康管理による

- 石綿ばく露地域の住民の不安の解消
- 石綿関連疾患の早期発見・早期治療
- 石綿健康被害救済制度等による早期の救済・支援

## 石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査の進め方(概念図)



1 精密検査の必要があると判断された場合は、医療機関を受診するよう指導する。

2 調査対象者が希望する場合には、リスク等を説明の上で年1回に限り胸部CT検査を実施できる。